

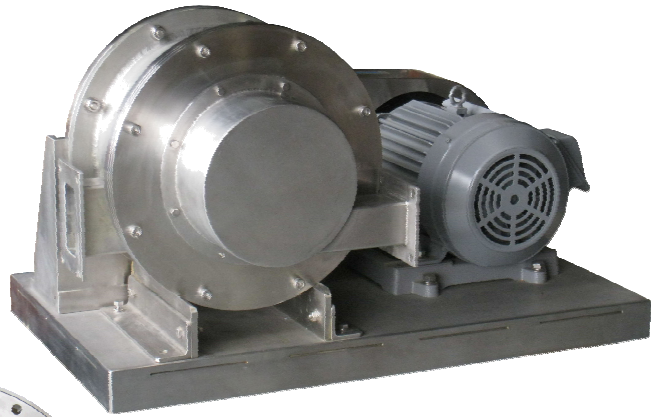
新製品

画期的な微粉碎機誕生！！

ファインパル

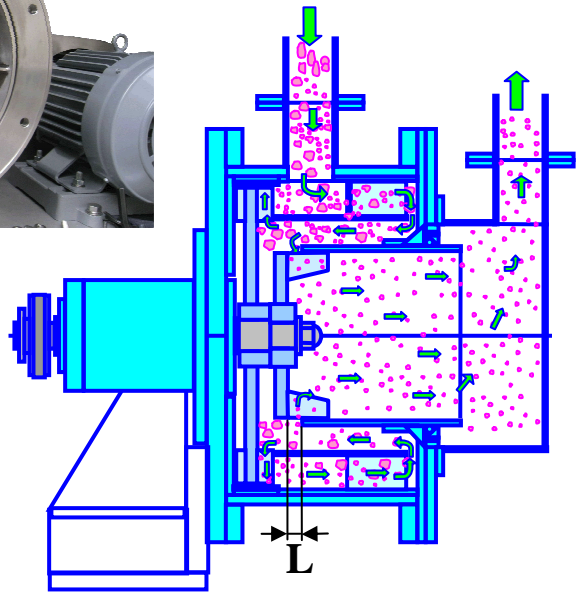
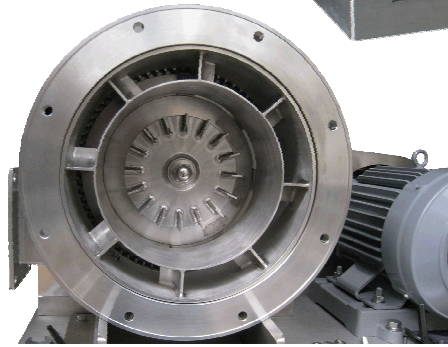
分級機内蔵微粉碎機

ファインパルは、分級機構を内蔵した微粉碎機です。シンプルな一軸構造でありながら、分級点の調整が可能な画期的な分級機構（特許申請中）が内蔵されており、高性能な粉碎機構との組み合わせにより、目的とする粒度の製品を効率よく得ることができます。化学製品、食品、健康食品、医薬品、鉱物など幅広い分野でご利用いただくことができます。



【特長】

- 粉碎性能が高い
- 微粉碎が可能
- 分級点の調整が容易
- 分級精度が高い
- 過粉碎が起こらない
- 一軸構造でシンプル
- 分解・組み立てが容易
- リーズナブルな価格



【構造】

原料は空気流により機内に送り込まれ、循環流により外周を回って分級ゾーンに到達します。分級ゾーンでは分級ロータの回転による遠心力とロータを通過する気流による向心力により分級作用を受け、分級点より細かい微粉は気流に乗って集塵機へ送られ製品として捕集されます。分級点より粗い粒子は循環流により粉碎部に送り込まれ高速で回転するブロック状ハンマと壁面のライナにより激しい衝撃を受け粉碎され、再度循環気流に乗って分級ゾーンへ送り込まれ分級作用を受けます。この分級・粉碎が繰り返され、過粉碎を起こすことなく効率的な粉碎が行われます。

【分級の理論と分級点の変更】

理論分級点は分級ロータの回転によって粒子に与えられる外側へ向かう遠心力と気流によって与えられる内側へ向かう向心力のバランスにより決定されます。

$$D_{th} = kQ^{1/2}/L^{1/2}/n$$

- D_{th} : 理論分級点
 L : 開口長さ
 Q : 風量
 n : 回転数

通常分級点の変更はロータの回転数の変更により行われますが、ファインパルでは回転数は原料の粉碎の容易さと目標粒度により決定して、分級点の調節は開口長さLの調整により行います。

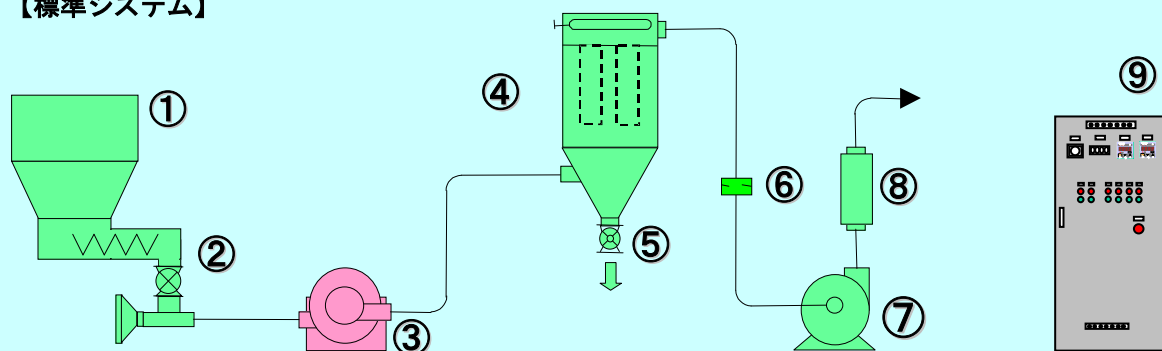


分級点粗



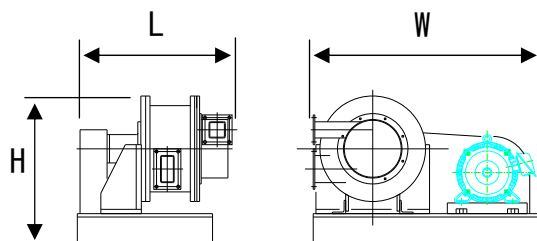
分級点微

【標準システム】



- ① フィーダ
- ② ロータリバルブ
- ③ ファインパル
- ④ 集塵機
- ⑤ ロータリバルブ
- ⑥ オーマータ
- ⑦ ブロウ
- ⑧ サイレンサ
- ⑨ 操作盤

型 式		FP37	FP110	FP300	FP550
モ ー タ	(kW)	3.7	11	30	55
風 量	(m ³ /min)	5 - 7.5	15 - 22.5	40 - 60	75 - 110
最高回転速度	(m ⁻¹)	8530	5970	3730	2390
粉碎ロータ口径	(mm)	280	400	640	1000
概略寸法 W	(mm)	850	1300	1800	2200
L	(mm)	600	1200	1600	1800
H	(mm)	600	1000	1400	1600



【FP550の部品】



【適用例】

木材 水分25%WB FP550 55kW -45 μ m=49.3% 95kg/h
 木材 水分25%WB FP550 55kW -45 μ m=34.4% 127kg/h
 化学製品、鉱物 食品 医薬品など各種原料の粉碎が可能



粉粒体・液体プラントエンジニアリング
 HUMAN COMMUNICATION
ユーグロップ株式会社

〒532-0002 大阪市淀川区東三国4丁目11-4
 新大阪明成ビル 7F

TEL: (06)6391-6999 FAX: (06)6391-0431

URL: <http://www.yougrop.co.jp>

